

第16回（2023（令和5）年度）口腔先端科学教育研究センター 歯系研究発表会 応募要項

発表会の概要

本発表会は、国際的に通用する卓越した能力を有する若手研究者の育成を目的とし、大学院生、歯学部学生、歯系教員・医員・研究生等（以下、歯系研究者）による研究の成果を発表する場を設け、優れた発表に対して表彰状と副賞（研究助成金）を授与するものです。

- ▶ 日 時：2023（令和5）年 12月 2日（土）
- ▶ 会 場：鶴陵会館 ウィリアム・ウィリスホール、中ホール
- ▶ 参加者：歯系大学院生（原則として全員参加、1日通して参加した場合、医歯学研究講義3単位として認定）、歯学部学生、歯系研究者

※ 全参加者には、研究発表内容に関する守秘義務が課せられます。

※ 新型コロナウイルスの流行状況等により、開催形式の変更や参加者数の制限を行う可能性があります。

▶ プログラム（予定）：

8:50～ 9:00	開会式	12:40～14:10	ポスター発表討論
9:00～11:40	口演発表（※ 10演題の場合）	14:20～14:50	講演
11:40～12:40	昼食・休憩	14:50～15:20	授賞式・閉会式

▶ 発表形式：

口 演 発 表 運営が準備したノートパソコン(Windows)を用い映写。発表 10分 + 質疑4分（予定）。
ポスター発表 11月下旬に、PDFファイルをmanaba上に掲示し、評価者による質疑応答を行います。発表会当日は、印刷したポスター（幅110cm × 高さ145cm）を中ホールに掲示し、午後のポスター発表討論時間に参加者と対面形式で質疑応答を行います。

演題募集

- ▶ 応募資格：歯系大学院生、歯学部学生、歯系研究者に限ります。大学院4年生（在籍年数が4年を超える者を含みます。以下同じ）と同3年生は、必ず応募してください。やむを得ず応募しない場合は、理由書を提出してください。理由書の様式は口腔先端科学教育研究センターのウェブページ（後述）からダウンロードしてください。
- ▶ 発表内容：発表者が中心となって実施した研究の成果で、学術雑誌に論文として掲載されていないか、応募から1年以内（令和4年10月1日以降）に掲載または受理されたものとします。ただし、大学院1年生と同2年生は、研究計画等でも差し支えありません。
- ▶ 発表形式：下表のとおり発表者の属性ごとに発表形式（口演またはポスター）を指定していますが、応募状況によって変更をお願いすることがあります。発表に用いる言語は、日本語または英語とします。非母国語としての英語での口演発表には、「発表技法」の評価（後述）に加点を行いますので（口演のみ）、英語による口演発表に積極的に応募してください。

発表者		応募	発表内容	発表方法
歯系大学院生	4年生	義務	研究成果	口演 または ポスター
	3年生			
	2年生	任意	研究成果 または 研究計画等	ポスター
	1年生			
歯学部学生		任意	研究成果	口演 または ポスター
歯系研究者				

- ▶ 応募方法：応募書類の様式ファイル（Microsoft Wordテンプレート形式）を口腔先端科学教育研究センターのウェブページ（<https://w3.hal.kagoshima-u.ac.jp/ercaos/compe.html>）からダウンロードし、必要事項を記入してください。それをメールの添付ファイルとして発表会事務局（後述）へ提出してください。なお、抄録は、公開に支障がない内容にしてください。
- ▶ 応募締切：2023（令和5）年 9月 30日 午後5時 厳守

発表形式の決定方法

大学院4年生および口演を希望する歯系研究者の人数の合計が口演発表の枠を超過する場合には、下記の手順により発表形式を決定いたします。

- ① 演題応募時：1分野に大学院4年生および口演を希望する歯系研究者が2人以上いる場合は、演題応募の際に分野内における「口演発表を行う優先順位」を応募用紙に記入してください。複数の者に同一順位が付されている場合は、同一順位者の中で抽選します。抽選は乱数を用いて行い、発表内容を全く考慮しません（以下同じ）。
- ② 口演発表の1枠を歯系研究者に、残りの枠を大学院4年生に割り当てます。全ての歯系研究者がポスター発表を選択した場合は、口演発表の枠の全てを大学院4年生に割り当てます。
- ③ 全分野から優先順位が1番である大学院4年生を1人ずつ口演発表の枠に割り当てます。但し、発表する大学院4年生の数が口演発表の枠を超過している場合は、抽選により決定します。
- ④ 枠が空いている場合は、口演を希望する大学院4年生の人数が多い分野から2人目を割り当てます。同4年生の人数が同じ分野が複数ある場合は、抽選により決定します。
- ⑤ 口演を行うことが決定した大学院4年生の人数が最も少ない分野から歯系研究者の発表者を選びます。口演を行う大学院4年生の人数が同じ分野が複数ある場合は、抽選により決定します。

評価方法と表彰

▶ 発表評価：

評価員 全分野から選出された准教授以上（不在の場合は講師・助教でも可）の教員2名（口演発表・ポスター発表各1名）が評価員となります。原則として、口演発表の評価員とポスター発表の評価員を兼ねることはできません。

評価方法 評価員は、口演発表とポスター発表それぞれの所定の評価票に基づき、「発表内容」と「発表技法」を評価します。これとは別に、参加者全員（発表しない者も含む）に各発表の評価をして投票をしていただきます。獲得票数上位の演題には、評価員による評価に加点を行います。

▶ **最終選考**：優秀発表の最終選考は発表終了後に開催する口腔先端科学教育研究センター運営委員会臨時会議で行い、授賞式で選考結果を発表します。

▶ **賞・副賞**：応募状況によって授賞対象者数と研究助成金の額を変更することがあります。副賞の研究助成金は発表者（歯学部学生の場合は指導教員）の所属分野が受領し、原則として受賞者の研究に用いるものとし、使用規則等は科学研究費補助金に準じます。最優秀賞・優秀賞を受賞した大学院生は、次年度に開催される先端歯学スクール（先端歯学国際教育研究ネットワーク主催）への派遣候補者となります。

発表部門	賞	受賞対象者	副賞 (研究助成金)
口 演	口腔先端科学最優秀賞	大学院生・歯系研究者から1名	7万円
	口腔先端科学優秀賞	大学院生・歯系研究者から最大3名	4万円
ポスター	口腔先端科学最優秀賞	4部門（発達系、成人系、口腔外科系、基礎系）から各1名	2万円
	口腔先端科学優秀賞	4部門（発達系、成人系、口腔外科系、基礎系）から各若干名	1万円
	口腔先端科学奨励賞	歯学部学生	—

▶ 受賞者へのお願い：次年度に催されるオープンキャンパス、大学院説明相談会、歯系研究発表会等で関連する内容の発表をお願いすることがあります。ご協力いただければ幸いです。

問い合わせ先

第16回 口腔先端科学教育研究センター歯系研究発表会 事務局（歯科機能形態学分野）

▶ 事務局代表メールアドレス（演題提出先） compe@d1.dent.kagoshima-u.ac.jp

▶ 担当：後藤 哲哉 tgoto@dent.kagoshima-u.ac.jp 内線 6100

山中 淳之 yamanaka@dent.kagoshima-u.ac.jp 内線 6102